

学校評価表 令和7年度 川地中学校 最終評価(自己評価)

	中期 経営目標	短期 経営目標	目標達成のための 方策・取組	成果指標(目標値) どこまでさせるか:数値	中間 達成率	最終 達成率	指標分析	評価	結果・課題・取組
信 頼	「社会に 開かれた 教育課程 の展開」	地域連携と コミュニティ 小中連携の 充実 <総務部>	①学校の情報発信 (各種通信の発行・HP 更新)  ②コミュニティ・スクール と地域,学校との協働 活動の一体的な推進 (地域貢献,地域保 護者への授業参観, ゲストティーチャー活 用)  ③小中一貫教育の充実	①各種通信月1回以上, HP更新月2回以上  ②保護者アンケートで学 校への満足度85%以 上 (グッドタウン学習・合 同防災訓練・サロン交 流)  ③小中合同で活動を行う	①100%  ②103%  ③計画通り 実施途中	100%  ②106%  ③100%	①通信は月1回の発行,HPは月2回以上の更新を実施  ②保護者アンケート学校への満足度 90%  ③学区運営委員会7回開催,小中合同研修3回実施。 川地中学校オープンスクール イングリッシュキャンプ 異年齢交流小中合同行事 学区合同研修会(道徳)川地中	4	①学校通信10回発行 HP月2回以上の更新 継続して いる。学校通信,HP については,学校のようにや生徒 のがんばりなどの話題を情報発信することができた。 各学年の通信も担任の思いや学校生活の様子を伝え ることができた。また,各行事実施の際に学校運営協 議会委員の皆さんに案内もした。保護者アンケートの 「川地中学校の教育活動については,学校だよりや学 級通信などでよく知ることができる。」の肯定的評価は 90%  ②2学期は,サロン交流で地域の方と交流することができ た。サロン代表の方々にゲストティーチャーとしてお世 話になった。 学校運営協議会(CS)では,まちづくりについて考える 場をいただいたり地域の方に葉牡丹を寄贈していただ き生徒とともに花壇に植えたりした。 職員が個に応じた指導を丁寧に行うとともに,保護者 との連携を綿密にとり学校での出来事や思いを伝えたり 保護者の思いを聞いたりした。  ③4月から運営委員会で運営について話合い,小中合 同研修会の取組を計画的に進めている。また,各部会 は必要に応じて開催し取組を進めている。
		学校の働き 方改革と危 機意識の醸 成<総務部 >	①各月の在校時間の縮 減  ②危機の予測と回避 (実効的な不祥事防 止研修の実施)	①各月の勤務時間外在 校時間45時間未満と 職務内容や質の見直し  ②不祥事防止研修を年 に12回以上	①100%  ②100%	①100%  ②266%	①4月から1月までの勤務時間外在校時間で月 45 時間未 満の教職員の割合は54%,職員全体の勤務時間外在校 時間を平均にすると41時間40分である。  ②計画的に実施中32/12回	4	①時間外勤務 45 時間未満の職員の割合は,9月…3 8% 10月…31% 11月…77% 12月…54% 1月 …62%であった。土日の部活動時間を交代で指導す る等工夫をしている。学校衛生委員会を毎月実施し た。定時退校日を意識して計画的に職務を遂行するよ うにしている。  ②時機を逸することなくニュースなど折に触れて不祥事 防止研修を行うなど服務規律の確保に努めてきた。ま た,学年に1つテーマを与えて服務研修の企画・実施 をしている。今後も実効的な研修を行う。